

令和 6 年度 第 9 回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 7 年 2 月 27 日（木）13：00～13：30
- 2 場 所 公民館 2 階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	本村 健一郎
2	課長代理	峯 清美
3	係長	野田 あゆみ
4	主任指導主事	小宮 広明
5	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己

4 議題

教育課題解決に向けた今後の取り組みについて

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

今日は、この総合教育会議をもって、最終的に令和7年度以降の取組を確認し、ぜひ、公表をプレスでもする。

—牟田専門員より江北町のエデュケーションに関する取り組みの説明—

・学力向上について【中学生全員に英検無料受験事業】

英語検定を一つのツールとして学習意欲を高め、自ら学習に取り組む習慣を身につけさせたいと考えている。具体的には、中学生全学年生徒及び小学校6年生の希望者に対して、英語検定の受験料の全額補助を行う。佐賀県でも令和7年度から英語検定無料の試行が3市町を対象に行われるが、佐賀県は中学校3年生の10月の受験のみで、先生方の授業改善が進んでいるかを検証するもの。生徒の関心意欲と関係なく、全員3級を受験するという事業。江北町は、自分の能力に応じて希望する級を受験することができる。こうした取り組みが、英語以外の学習意欲にもつながり、全体の学力を押し上げていくと期待している。

・部活動の地域移行（地域展開）【大町町との合同部活動開始】

大町町との協議が進み、男子バスケットボール部と女子剣道部を4月から行う。男子バスケットボール部は、江北町を拠点校とし、大町町の生徒1名を受け入れ練習を行い、中体連にも参加をする。女子剣道部は、大町町を拠点校とし、合同チームを作る。他にも希望者がいれば、大町町と協議を行い、合同部活動を推進したい。

・教育支援センターの設置について【教育支援センター4月スタート】

4月から、役場の北側にある郷土資料館を利用して、教育支援センターを立ち上げ、指導員2名を配置し、学校に投稿できない不登校児童生徒の学習支援や体験活動に取り組むと考えている。

また、不登校児童生徒の本人保護者からの相談業務も行い、不安解消に努めていく。なお、家庭に引きこもりがちな児童生徒については、必要に応じて家庭訪問を行い、「アウトリーチ」と呼ばれる訪問支援も行う予定。

【浪瀬委員】

・4つの大きな課題の中で対策が3つ取り組んでもらえるということでうれしく思う。

・1つ目の学力向上については、できるだけ続けてほしい。

・2つ目の部活動についても、拠点校方式を使って、地域移行を行っていくということで、大町町との話し合いもうまくいったと思っている。拠点校方式も続けていきたいと思うが、私的には、拠点校方式ではなく、単独で行うことができればと思っている。できないのであれば、拠点校方式で行うのも大切だと思う。地域移行に関しては、これから先まだまだ課題が出てくると思うので、その課題解決に向けてこれから努力・検討をしていきたい。

・3つ目については、場所も決まったので、子どもたちの頼れるところ・救うところが設置できてうれしく思う。

【溝口委員】

・英検は、進学・就職に非常に有利になる資格だと思う。自分自身も学生の頃様々な検定を受けたが、いい経験になっている。子どもたちにもぜひ受験し、合格してもらいたい。

【重松委員】

・昨年9月から始めた取り組みが4月から3つも実施できるのは、とてもスピード感をもって対応してもらったことは嬉しく思う。

・大きな課題4つ目が、これから大変だと思うが、江北町の施設を生かしていくかといった先を見据えての取組が早い段階でスタートできたらと思う。

【田中委員】

・学力向上については、英語が一つの突破口。全員が勉強する習慣をつけて、一つずつ目標を決めて自分に自信をつけ、勉強が楽しいと思える取組になってほしい。

・中には、やる気のない子どもや受験しない子どもが出てくるかと思うが、そういったときは、どういうサポートをするのが課題だと思う。

・部活動の地域移行は、できるところから一つずつ行っていく。子どもたちのやりたい事も多岐にわたってきている。今ある部活動だけでなく、他のこともやりたいという子どもたちがいる現状をこれからどういう風に部活動が成り立っていくかなと思う。

・教育支援センターに関しては、子どもの居場所、安心できる場所ができたことに感謝している。

【山田町長】

新年度以降は、教育委員を含めて、進行管理をしっかりしていきたい。教育委員会では、定例教育委員会で報告のようなものをしてほしい。

【牟田専門員】

部活動の地域移行については合同部活動を中心にしているが、地域連携についても、関係者の聞き取りを始めている。その中で、競技によって大きな差があると感じる。協会の体制ができているところとできていないところがあり、まずは、お互いが連携・協力ができる体制の競技を対象として、地域クラブに認定できるようにしている。関係者から話を聞き、整理をしているところ。地域連携が全く進んでいないわけではなく、来年度以降、順次手を挙げてもらえるシステムを作りたい。